

## 海上保安政策プログラム近況報告

### ○海上保安政策プログラム第6期生、ついに本格始動！

今年の海上保安政策プログラムは6期目となりますが、例年とは全く違った状況の中、スタートを切ることとなりました。世界的な脅威となっている感染症の影響は、我々が参加するプログラムにも多大な影響を及ぼしたためです。6期生は、スリランカ2名・タイ1名・フィリピン2名・日本2名の4か国7名で構成されています。本プログラムは、10月からスタートしておりますが、9月末の時点においても、来日の目途が全く立っていませんでした。

普段とは違う状況の中、いかに6期生間で顔の見える人間関係を構築するかについて全員で話し合った結果、メールを活用して雑談を含めた情報共有をこまめに行うのはもちろんのこと、週1回のWebミーティングを開催することで、お互いについて理解を深めていきました。

学業に関しては、オンライン授業の拡充等を図ってくださった政策研究大学院大学のおかげで、大きな支障はなかったものの、やはり、授業前後でのディスカッションを容易に行うことのできないハードルは、早く取り除きたいなと感じていました。

そして、ついに11月中旬、6期生全員の来日が叶い、2週間の隔離期間を経て、例年とは2か月遅れとはなりましたが、12月4日に全員無事に東京で合流することができ、本プログラムの本格スタートを切ることができました。Zoomミーティングを継続してきたこともあり、初めて対面で会うにもかかわらず、円滑にコミュニケーションをとることができ、改めて日頃のコミュニケーションの重要性を感じるとともに、これからは一層深い人間関係が構築できるという喜びがこみ上げてきました。

一年間という短い期間ですが、今後の海上保安機関の発展の一助となるよう、勉学に集中しつつ、6期生の日本滞在時間が例年より2か月短くなってしまった分、一日一日を大切に、日本での生活を一層濃いものとし、6期生間の人間関係をより深いものとしていきたいと思えます。

(作成者 高城 陽平:海上保安庁)

(記載年月日:2020年12月25日)



※撮影時のみマスクを外しています。

